

令和 6年 9月11日

みやき町議会
議長 平野 達矢 様

みやき町議会総務文教常任委員会
委員長 岡 広 明



総務文教常任委員会審査報告書

令和6年9月4日の第3回定例会本会議において、当総務文教常任委員会に付託された次の議案について、令和6年9月6日・9日・10日・11日の4日間にわたり審査しましたので、その結果を会議規則第77条の規定に基づき報告します。

付託議案

認定第1号 令和5年度みやき町一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）
について

記

1. 採決の結果

認定第1号 令和5年度みやき町一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）
については、全員賛成にて本決算を認定すべきものと決定しました。

2. 審査の結果及び所見

認定第1号 令和5年度みやき町一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）
について

歳入

- ① 一般会計における町税3税の滞納繰越分について、予算額21,862,000円、調定額50,183,747円で収入済額16,580,676円、徴収率33.04%であった。徴収強化の努力は評価するものの、町税3税の不納欠損が1,898,411円となっている。税負担の公平性から安易な不納欠損処理は極力避け、滞納者の対応を見極め法的措置も視野に徹底した徴収努力を望む。
- ② ふるさと寄附金基金特別会計から1,267,327,000円を繰り入れている。今後は、ふるさと納税制度の改正により、多くのふるさと寄附金は望めない状況も想定されることから、確実な収入が見込めない寄附金に依存しない行財政運営に努められたし。

歳 出

- ① 防犯灯設置の目的として、犯罪の抑止や地域の安全性の向上、通学路の安全確保等があげられる。現在の設置数、設置個所については、地域によって様々である。防犯灯設置改修事業の制度について、さらに広く周知を行い地域のニーズを反映した設置を行うことでより効果的な防犯対策となるよう努められたし。
- ② 消防団員数は全国的に年々減少しており、年齢層も高齢化の傾向にある。みやき町においても状況は同様であり、町民の安心・安全を守るためにも団員数確保は重要な課題である。消防団の必要性については、大規模災害の多発懸念が一層高まる中、その重要性がますます高まり、地域防災力の確保の観点から、地域の特性を理解し、地域住民と協力して最適な人数を導き出すことが重要である。総括的に組織や体制、団員の処遇等について見直しを行い、更なる地域に密着した消防団の組織強化に努められたし。
- ③ 流域治水推進については、近年の水害の頻発化・激甚化を鑑みると、これまでの国や県による治水対策に加え、町や民間事業者、町民などの流域の関係者全員が参画、意識を共有し、計画的に取り組む必要がある。今回完成した流域治水推進調査報告書に基づいて、流域治水の取組みを推進することにより、水害に強い、安全・安心な地域づくりに繋げて行くことを望む。
- ④ 学校施設の老朽化が進む中、子どもたちの安全・安心を確保するためには、学校施設を常に健全に保つ必要がある。そのためには、限られた財政状況の中、計画的・効率的に保全・更新を行うことが重要である。児童生徒の教育環境の維持・向上を第一に考えつつ、児童・生徒数の推計等も考慮し、適正に改修・建替えることを目的とした計画を策定し、喫緊の課題である学校施設の老朽化対策を推進していくことを望む。

なお、当委員会での意見を今後の予算編成時に反映されることを望む。